



校長室 だより

平成29年5月8日
尼崎市立常陽中学校
校長 小谷 豪郎 No.3

修学旅行特集



朝6時に集合、ちょっと眠いですが愛情弁当を持っていよいよ出発です。早朝より、たくさんの先生方やご父兄に見送りにきていただき、感謝いたします。



伊丹空港を目指し、各クラスバスに乗車しました。気のせいか、みんな普段より少々テンションが高いようで元気いっぱいノリノリです。



初めて飛行機に乗る生徒がたくさんいました。荷物検査で水筒やペットボトルの中身まで検査されるのに少々戸惑っていると、ピーっと警報音が鳴る者まで・・・



いよいよ離陸です、みんな興奮状態です、まるで遊園地のジェットコースターに乗っているように離陸の瞬間、なぜだか両手を挙げている生徒もいました。

初体験・快適な空の旅



離陸直後、窓の外には伊丹市の昆陽池公園が見えていましたが、あいにくすぐに雲の中に入り常陽中学校はかすんで見えませんでした。



離陸後、飛行が安定すると朝が早かったので爆睡状態の生徒が続出、よく見ると福田先生も速攻夢の中のような様子。これは到着後に供えての教師の心得でしょうか。



出発時は曇り空で現地沖縄も曇り一時雨の予報でしたが、空の旅も快適で沖縄に近づくと、南国らしい美しい海と島のコントラストが美しく見えてきました。



いよいよ那覇空港に到着ですここでまたしても飛行機初心者たちが、着陸の瞬間に安心したのか感動したのか誰からともなく大きな拍手がおこりました。



飛行機を降りる前にチーフパーサーが挨拶にこられて、マナーが良く礼儀正しい良い学校ですとお褒めの言葉をいただきました。私立の学校と思われていたようでした。

到着して皆の第一声は、暑い一言、バスのエアコンがとても心地よかったです。

平和祈念公園・平和の礎



平和祈念公園で昼食です。とても広大な美しい公園ですが、ここが沖縄戦の最後の激戦地だったとは思えないような本当に美しいところです。



先生方も朝が早かったのでおなががすいています、ここからの行程に備えてまずは、腹ごしらえです。今回大活躍の個性的な？担任たちです。



平和学習その1、平和の礎の前で平和集会です、ご冥福を祈り黙祷をし、平和への誓いの言葉、そしてみんなで作った「千羽鶴」をささげました。式典後「千羽鶴」を平和祈念資料館に持って入り飾っていただきました。



そして、班別に資料館内を見学し沖縄の歴史、「沖縄戦への過程」「鉄の暴風」「地獄の戦場」「地元の方々の証言」など沖縄戦の悲惨な状況を学習し、改めて平和の尊さを実感できたのではないのでしょうか。



この美しい「摩文仁の丘」から見える東シナ海に大量の軍艦が押し寄せ砲弾や銃弾が雨のように降り注いだなんて想像ができません。

ガマ・轟壕 体験学習



平和学習その2、ガマ体験です。ガマとは戦時中に防空壕として利用した、沖縄という土地柄で珊瑚礁の島に自然とできた鍾乳洞の洞穴です。

ガイドさんは、自分の家族を沖縄戦で亡くされたことや、多くの民間人が犠牲になったことそして、未だに遺骨が手元には帰ってこないことなど貴重なお話をしてくださいました。



いよいよガマの中へ入って行きます。

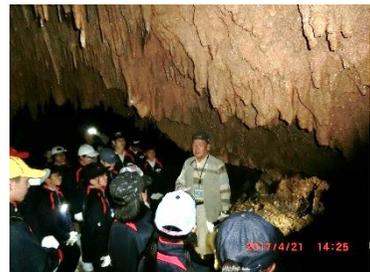
立っては通れないような天井の低いところがあったり奥には地下水が川のように流れていました。当時はこれが飲料水にもなり生活が長期化する中でやがてはトイレ代わりにもなったということです。



鍾乳石なので湿気があると足元が滑ってとても歩きにくい上明かりがなく普通に生活するのも困難だろうと想像するのに、戦争中はこのガマで3ヶ月もの間生活をしていたなんて考えられませんでした。



全員明かりを消してガイドさんからガマでの生活、戦時中の出来事、集団自決、捕まって捕虜にならないためにお互いに殺しあったことなどを学び黙祷をしご冥福をお祈りしました。



今帰仁村での民泊体験



ガマ体験を終え、沖縄北部の今帰仁村へ移動し夕方からわずか一泊ですが、地元の方のお宅で民泊体験をしました。

各家庭で沖縄料理づくりを体験したり手作りのサーターアンダーギーを作って食べたり、近隣の観光地へ出かけたり様々な体験をして翌日体育館へ集合しました。



集合したときの様子は、写真のような光景があらこちらで見られました、小さなお子さんがいる家庭にお世話になった生徒たちは、兄弟のようにすっかり仲良しになり、別れを惜しんでいました。

市内のある中学校で、高校受験が終わり、春休みに修学旅行でお世話になった沖縄のご家庭をおとづれた、という話を聞きました。今後、沖縄へ来るようなことがあれば、今帰仁村に立ち寄って今回の体験を思い出してほしいと思います。



受け入れ家庭を代表して挨拶をしていただいたご家庭も子供さんたちと仲良く、自作の尼崎を紹介するすごろくなどで楽しいひと時を過ごせたと大変喜んでおられました。



沖縄の海を満喫



あいにく2日目の天候は、少し時雨れていましたが、全員ウエットスーツを着用して万全の体制、その上さすが南国、水温は真冬でも20度を下回らないということで当日も水中のほうが暖かったです。



ジェットスキーで沖まで引っ張ってもらったドラゴンボートは波が大きかったので迫力満点、みんな大喜びで興奮気味でしたが、中に少し波が大きくて船酔い状態になった生徒も数人いたようでした。

途中で振り落とされて置いてきぼりになるような生徒は誰もいませんでした。



「波と戯れる乙女たち」

沖まで行くのが疲れたのか、波打ち際で波に体を任せ楽しんでいました。ウエットスーツ大正解でした。



砂浜遊びの恒例といえばこれみんなに砂をかぶせられ動けなくなっています。よく見ると、米原先生が中心になってクラスの生徒を埋めているようですね



先生も生徒も大満足



水遊びは、大人も子供も大好きです。福田先生もクラスの生徒たちと波打ち際で楽しんでいますが、ウエットスーツなしで若干寒そうですね？

「波と戯れる乙女たち2」



雄大な東シナ海の水平線を眺め、たそがれている女子生徒たち「恋バナ」で盛り上がっているのでしょうか？



こちらでは、各クラス男女対抗でビーチバレーで盛り上がっています。



生徒たちのビーチフラッグ大会終了後、担任対抗ビーチフラッグ大会を行いました。吉田先生にはハンディーをあげ4人とも真剣勝負！



勝負がついたかと思いきや最後まで奪い合いが続く・・・勝ちにこだわる大人の執念を生徒たちは学びました？

ホテルでのレクリエーション



ビーチの目の前のホテルで入浴・夕食を済ませレクリエーションタイムです。

担当生徒たち、太田先生ががんばって準備を進めてくれていました。



生徒たちのクイズ等も盛り上がりましたが、やはり今回は先生方の頑張りが人気集中でした。バスの中で米原先生と綿密な打ち合わせをしていた福田先生の一発芸です。



福田先生も結構受けましたが、レク係りの生徒たちはまだまだ満足しません、何か物足りない、何かあったはずだと・・・



レク係りからのご指名がありステージに上がったのは、中富先生・・・きめのせりふは「35億！」「ブルゾン中富」でした。



修学旅行実行委員の皆さん旅行の事前学習、しおり作成各係りの仕事、全体のルール作り、車中レクからホテルのレクリエーションまでご苦労様でした。

いよいよ沖縄最後の日！



平和学習その3、今帰仁村から首里城への途中に米軍嘉手納基地の見学用展望台へよりました。日曜で訓練はしていませんでしたが、戦車2両が乗る全長80M以上もある大型輸送機が滑走路の端に止まっていました。遠くから見ていましたが80Mというと、常陽中の運動場にぎりぎり入るかどうか、という大きさです。展望台から見ても端から端まで見渡せません。基地の町を実感しました。



いよいよ首里城です、まずは守礼門から入場して行きます。周囲は、中国語、韓国語、タガログ語・・・外国人の方がとてもたくさん控えていました。



高台からは、遠くに東シナ海の水平線が見えます。天候に恵まれたのは良いのですが、尼崎とは違い日中は25℃の夏日です。熱中症対策にこまめな水分補給が必要です。



首里城正殿の御庭です。あいにく工事中で写真写りが今一だったかも知れませんが、クラス写真を撮り終わったところからいよいよ、班別自由散策の開始です。

班別行動で国際通いを散策



ゆいレールに乗って牧志駅まで行きそこから国際通りを散策してお土産と昼食ですがその前に塩アイスクリームに群がる生徒たち、暑かったからね。



早速、お土産物を求めてお店の中へ、一番に試食コーナーに向かう生徒たち、おなかですいているのか結構ちゃっかりしているのか・・・



一生懸命買い物に熱中する友達を眺めながらお土産をいっぱい抱えて休憩する生徒。お昼ごはんはもう食べたのでしょうか？



緊急時対応に指定していた本部に到着してすぐ生徒当日は沖縄国際映画祭があり国際通りにレッドカーペットが敷かれ芸能人がたくさん出場しそれを見物する人出がすごく皆疲れたようです。



4月とは思えない日差しに紫外線に弱い生徒たちは、日焼け止めだけでは対応しきれずに日よけの帽子や日傘で対応していました。



さすがに沖縄といえば魔よけのシーサーが街のあちこちにありました。

個人住宅には入り口の門柱か屋根に必ず飾られていました。



いよいよ那覇空港に集合し、岐路への準備です。1班が道に迷い交番所から金子先生に緊急連絡を入れてきました。集合時間を少し遅れましたが無事に帰ってきました。



みんな元気に3日間活動してきましたが、初めての飛行機で緊張したり、平和学習で入ったガマ体験で疲れたり、知らない人のおうちに泊まって緊張したり、マリンスポーツで友達とはしゃいだり、国際通りのすごい人ごみと、真夏のような暑さで疲れたのか、集合しているときにたくさんのお土産を抱え気持ちはすでにお家の方々へ移っているのか、うつらうつらお昼ね状態の生徒がちらほら見受けられました。



帰りは荷物が多くなったので機内持ち込みはお土産だけで、後は預けたので持ち物検査で引っかかることもなくスムーズに搭乗準備ができました。



那覇空港から帰路へ



さすがに基地の町、米軍基地だけでなく、那覇空港は陸・海・空の自衛隊と共用の飛行場で私たちの飛行機が滑走路を走り出した横に自衛隊機がたくさん止まっていたし、搭乗を待っている間にも自衛隊のP3C哨戒機やヘリコプターなどが離陸して行きました。



沖縄の美しい海ともこれでお別れです。



生徒たちは行きとは違い飛行機にも慣れたのか、ヘッドホンで音楽を聴いて余裕の様子ですが、伊丹空港に着陸する前に大きなビル群のすぐそばを着陸態勢で降りて行くときには、少々緊張していたようです。



大阪湾から鳴門大橋の向こうに美しい夕日が沈んで行くのを見ながら無事伊丹空港に到着しました

現地沖縄でしか体験できないことや、地元の方の生の声を聞きますばらしい平和学習になったと思います。これからも様々な体験から「感動・感激」を味わって一回り大きく成長し、大人へ一歩ずつ近づいて行ってください。1・2年生の皆さんは、機会があれば先輩方から貴重な体験を聞いて「感動・感激」を共有できたら最高ですね。人の話からも「感動・感激」を感じ取れる、そんな感性を養ってください。